

## 「稲とアガベ株式会社」への協調融資について

～新たな担い手が行う日本酒醸造事業を秋田銀行と日本政策金融公庫が協調支援～

株式会社秋田銀行（頭取 新谷明弘）は、日本政策金融公庫（以下、「日本公庫」という。）秋田支店とともに、「稲とアガベ株式会社」（代表取締役 岡住修兵）が男鹿市で新たに立ち上げる日本酒醸造事業に対し、協調融資をいたしましたので、お知らせいたします。

当行は農業近代化資金等により、日本公庫は当行を窓口とした農業経営基盤強化資金（スーパーL資金）により、計211百万円の支援を行いました。

当行と日本公庫は、今後も相互に連携して地域経済の活性化に努めるとともに、農業を起点とした新たな事業に挑戦する農業生産者の皆さまへの総合的な支援を推進してまいります。

### 記

#### 1 稲とアガベ株式会社について

代表取締役の岡住氏は秋田市の酒造会社にて酒造りの修行を積んだ後、大潟村の農家で農薬などを使用しないコメ作りに従事した経歴を持ちます。酒造りを教わった秋田に感謝しその恩返しをするため、秋田県内で日本酒醸造所の新設を決意し、起業しました。

#### 2 事業内容

「栽培醸造蔵<sup>(注)1</sup>・無添加蔵<sup>(注)2</sup>の実現」をコンセプトに、自ら無肥料・無農薬による自然栽培米を生産し、原材料の特徴を活かした完全無添加の新たな酒類の製造販売を行うことで日本酒業界および地域の活性化をはかることを目指しています。

醸造所は旧JR男鹿駅舎を改修し、今秋に開設する予定にあり、どぶろくなどの「その他醸造酒<sup>(注)3</sup>」に加え、2020年度酒税法改正を背景に輸出用清酒の製造を計画しています。

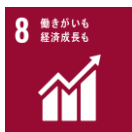
- (注) 1 栽培醸造蔵：事業者自らが携わった原料米のみを使用した酒蔵  
2 無添加蔵：男鹿市の水と菌だけで醸す無添加の酒蔵  
3 その他醸造酒：どぶろくや新ジャンルの酒類など、醸造酒類のうち清酒および果実酒以外の酒類を指し、糖類等を発酵させた醸造酒

#### 3 融資額

秋田銀行 52百万円

日本公庫 159百万円

(以上)



SDGsとは、2015年に国連で採択された持続可能な開発目標（Sustainable Development Goals）のことです。2030年までに解決すべき世界的優先課題17目標と目標を達成するための169のターゲットが示されています。

【参 考】

1 当社概要

代表取締役	岡住 修兵
所在地	南秋田郡大潟村中央
資本金	2百万円
事業内容	酒米生産、酒類製造・販売

2 投資計画概要

施設内容	日本酒醸造所
所在地	男鹿市船川港船川字新浜町1番21(旧JR男鹿駅舎)
総事業費	212百万円

3 商 流



4 事業地

(1) 配置図および完成イメージ図



(2) 男鹿市が中心市街地の賑わい創出の観点から進めている男鹿駅周辺整備事業により、旧JR男鹿駅舎を改修し、小売・軽食機能を兼ねた醸造所を新設するものであり、道の駅オガーレに続く誘客コンテンツとして期待されています。

(以 上)